

# 長年の趣味を動機付けとして心身へアプローチをした事例

Sさん 80代 男性 脳梗塞

通所リハビリにて理学療法・作業療法を週1回ずつ利用していたが、体調不良が続き、自宅での転倒が増えてしまった。



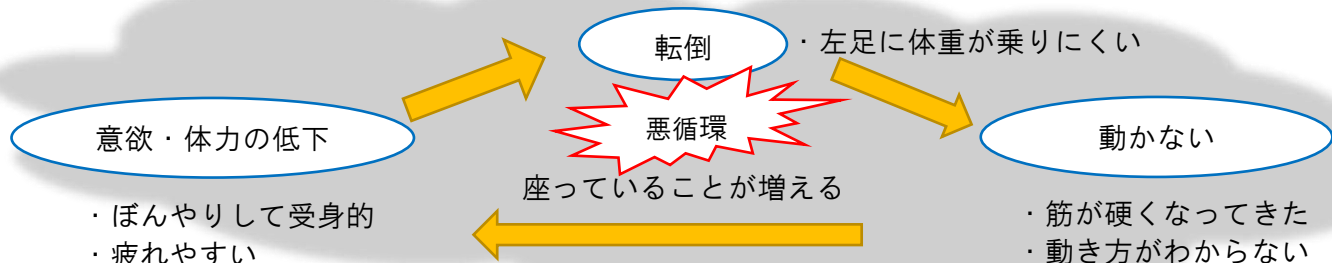
本人

このまま家で生活できるのか不安。家族には負担をかけたくないし…畑の世話もできず残念。忘れやすくもなったな…



家族

転ぶことが増えて怪我が怖いわ…



転倒の要因は、体力や筋力が低下しているだけでなく、**身体の変化に対して、今までと同じ感覚で生活していること！**  
自身の身体と向き合い、正しく気づき、能動的に活動できる作業は？



リハ

現役時代から仕事の傍ら趣味として畑仕事をしていたSさん。たくさんの野菜を育て、親戚や友人におすそ分けをすることが喜びであり、生活の一部となっていました。脳梗塞の後遺症で左手足の麻痺がありながらも、ご家族に畑仕事の基本から伝授し、一部の植ええや手入れをしていました。

馴染みある  
**畑仕事**を  
導入！

## プランター栽培

- ・ 野菜の種類や道具の選定、手順などの計画立て
- ・ 立ちしゃがみでの姿勢、バランス
- ・ 物を持つての移動

など



基礎的な運動も  
しました

今の時期なら、ほうれん草がいいねえ  
家の肥料を持ってくるよ

お手本を見せるから、  
やってごらん？  
育ちはどうかな？手入れもしよう！



このくらいなら、かがめるね  
じょうろを持って歩けるよ



収穫しました

## 結果




種を見に、家族とホームセンターへ行くことが  
楽しみになりました！家の中では、左回りの方向転  
換が苦手なので、気を付けようと思います。

# 安全な入浴動作獲得に向け、多職種連携した事例


Nさん 60代 女性 多系統萎縮症

進行性疾患により ①失調、ふらつき、呂律緩慢がある ②入浴動作が不安 ③言われただけではイメージがつかず、うまく状況に応じた動きができない  
当院でPT・OT・STを実施中。訪問看護による入浴動作も導入。



ふらふらして上手く歩けない。一人でお風呂に入るのが大変。

本人



仕事で日中一緒に居られない。身の回りは1人でできるようになって欲しい。

夫

必要なことは・・・

①一人で移動ができる ②お風呂に一人に入れる ③今回は②にフォーカス！

福祉用具や動作方法の検討が必要・・・**家屋調査**をしましょう！



リハ

## ①家屋調査

縁に足が引っ掛かる



手すりがないと歩けない

手すりのないところの移動ができない・・・



## ②関連職種からの情報

訪看「入浴の時には、手すりにしがみついて何とか浴槽をまたいでいる状態です。」

ケアマネ「浴槽をまたぐのは大変そう…何か福祉用具で対応できますか？」

福祉用具「この浴槽の形だと、バスボードはつけられません。」

リハ「シャワーチェアを回転するものにして、座ったまま浴槽への移乗ができるようにしてはどうでしょう？」



環境設定後・・・



椅子が回転するので浴槽の出入りが楽！

浴室までの移動に向け、歩行器のタイプも見直しました



# コロナ禍での歩行困難～家族指導により歩行再獲得した事例～

Nさん 70代 男性 脳出血右片麻痺、ネフローゼ症候群

週1回通所リハビリを利用。利用開始当初より支柱付き短下肢装具・4点杖使用し屋内外を一人で歩けた。また、セニアカーを運転し、自宅から数キロの範囲は行動範囲となっていた。

## コロナ禍

感染状況が落ち着くまでの通所リハビリ利用中止したが、その間に歩けなくなってしまい、約1ヶ月後に利用再開となった。

歩けなくなった。



本人

1人でトイレに行けなくなり、留守を任せられなくなってしまった。



妻

立っている時に右足が浮いていますね（写真①）。筋力が弱くなったというより、**麻痺側の筋肉が硬くなって膝が伸びず、足の裏が床に着かないことで右足に体重がかからないのでは？** 普段から膝を伸ばしておけるよう、ご家族にも協力をお願いしましょう。



リハ



### ① 再開時

立ち上がった時に右足が浮いてしまう。



### ② 家族指導

日中と就寝時、右膝をできるだけ伸ばしてもらおう  
(段ボール箱をサポート代わりに使い、バンド・角棒で補強)



### ③ 1か月後

右足をしっかり着けて、立ってられるようになった。



### ③ 5か月後

以前のように歩けるようになった。しかし、体力は落ちている。

## 結果



体力をつけて、また1人で出かけた。



トイレへ1人で行けるようになった。家の中をもっと歩いてほしい。

# 主婦業・趣味活動を全般的にフォローした事例

Yさん 50代 女性 脳梗塞

脳梗塞の後遺症で①右手が使えない、②自分の考えをうまく伝えられない、③順序立てて活動できない  
現在、外来にてSTを月2回、OTを月1回の頻度で実施中。



本人

映画を観たい！  
友達に会いたい！  
スマホも使いたい！  
でも…分からないから…  
忘れちゃうんです…



離れて暮らす  
実の両親

嫁としてやるべきことを  
やってほしい…

課題は・・・

- ①一人で料理ができることを実の両親に知ってもらう
- ②頼まれたことを忘れないようにする
- ③スマホで連絡が取れるようになる
- ④一人で映画を観られるようになる

\*夫・義理の両親はYさんのやりたいことには協力的で、嫁としても頼りにしている



リハ

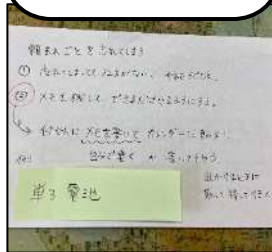
レシピ検索練習



調理練習



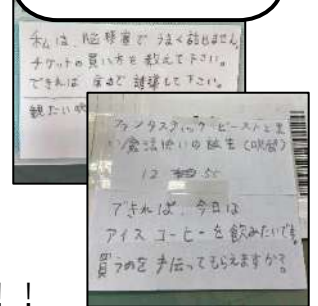
頼まれ事メモ



スマホ練習



映画メモ作成



事前にSTで計画を立て、OTで練習。自信がついて家でも実践！！！！

家で作った料理



頼まれ事付箋



写真付きメール



一人で観た映画



一人で映画を観に行けるようになりました！  
月に数回、昼食を作り実家に持って行ってます！  
頼まれ事も忘れずできるようになりました！  
友達とLINEができて嬉しい！



ご家族の反応

- ・手料理を食べられて嬉しい！
- ・こんなにできるなんてびっくり！
- ・連れて行ってあげられなかった映画を観られて良かった！